

T·I·E·S

TEAM INNOVATION AND
EMPOWERMENT SCHOOL

オープンイノベーション 社会実装作戦会議in広島

他者や異業種と「共創」し、広島からイノベーションを起こしませんか？

- ✓ 「社会課題」という新しい視点から、行政や異業種と協力することで、既存事業の延長ではなし得ない、新たな発想の事業を生み出します。
企業でもNPOでも個人でも、広島からイノベーションを起こしていく能力開発を支援します。
- ✓ 社会実装作戦会議では、
 - ・問題意識を持っている社会課題の解決に向けた取組を実施したい
 - ・すでに取組は進めているが、活動が拡がらないので何とかしたい
 - ・共感する他者の取組に参画して、自分の強みを活かして協力したいといった方々のご参加をお待ちしています。

参加費
無料

日程

✓キックオフ・学びセッション～7月24日(水) 8月29日(木)

✓既存PJから学ぶ～9月18日(水) 10月30日(水) 11月20日(水)

✓新規PJ立上げ～12月11日(水) 1月22日(水) 2月12日(水) 3月5日(水)

※各日程の開催内容
については、裏面
をご覧ください。

※「新規PJ立上げ」からのご参加も可能ですが、「学びセッション」や「既存PJから学ぶ」
からのご参加をお勧めします。ご参加お待ちしております！

時間

全日13:00～17:00(受付開始12:45～)

場所

叡啓大学プロジェクトワークスペース(広島市中区幟町1-5)
※ご希望の場合はオンラインでの参加も受け付けています。

対象者

社会課題解決に取り組みたい県内中小企業等、個人の方

参加申込

下記二次元コードから、もしくは、お問合せ・連絡先までご連絡のうえ、
お申込みください。申込締切：12月9日(月)

※「学びセッション」「既存PJから学ぶ」の回次へ参加申込みする場合は、開催日の前々日
までにお申し込みください。



フェローシップ

野村 恭彦 (のむら たかひこ)

金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科
教授・博士(工学)

Slow Innovation 株式会社 代表取締役



富士ゼロックス(株)を経て、企業、行政、NPOを横断する社会イノベーションを牽引するため、株式会社フューチャーズセッションを立ち上げ、渋谷を皮切りに、京都、広島など各地で「つなげる30人」事業を実施し、イノベーションが連鎖的に生み出されていくネットワークや場の構築をしている。

村上 敏也 (むらかみ としや)

金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科
教授・博士(経営学)



学生時代から複数のITベンチャーにて奔走し、技術担当役員などを経て、慶應ビジネススクール修了(DBA/MBA)。東京工科大学、多摩大学、立教大学の非常勤講師、県立広島大学准教授を経て現職。人材育成による活き活きとした地域経済の革新を通じて、現場で働く人々の笑顔を増やし、日本社会の豊かな成熟に貢献する。

お問合せ
連絡先

広島県商工労働局
イノベーション推進チーム
支援推進グループ(中西/松浦/河相)

TEL: 082-513-3355

Mail: syo-innovchu@pref.hiroshima.lg.jp

参加申込

右の二次元コードから
アクセスいただき、
お申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19399



WEB

「TIES」については、
こちらからご覧ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/70/ties.html>



カリキュラム

✓ 新規プロジェクトに関する取組は、第6回「プレセッション」から本格稼働しますが、それまでの回次についても、ケースメソッド議論や、既存プロジェクトに関する継続ディスカッションを実施しますので、ぜひご参加ください。

第1回	7月24日(水)	キックオフ、既存プロジェクトのケース議論、傾聴セッション
第2回	8月29日(木)	ケースメソッド議論、TIES3の成功とは、起案セッション
第3回	9月18日(水)	既存プロジェクトの議論①
第4回	10月30日(水)	既存プロジェクトの議論②
第5回	11月20日(水)	既存プロジェクトの議論③
第6回	12月11日(水)	プレセッション
第7回	1月22日(水)	新規プロジェクトの設計
第8回	2月12日(水)	拡大作戦会議
第9回	3月5日(水)	新しい活動のキックオフ

プロジェクト起案申請期間
 ・新規メンバーは、12月11日のプレセッションまでに、プロジェクト起案を事務局に提出することができます。

これまでの創出プロジェクト例

アップサイクルプロジェクト

一般社団法人日本アップサイクル協会 代表理事 中井 誠悟
 一般社団法人日本アップサイクル協会 理事 藤原 研太

「チームイノベーション道場in広島」の修了生が主体となって企画した、「アップサイクルプロジェクト」の実現に向け、社会実装作戦会議の第1期に参加。2023年6月に(一社)日本アップサイクル協会を設立し、「もったいない」を宝物に変える地域連携プラットフォーム「Upcycle Factory」と題し展開する。アップサイクルの手法を取り入れ、付加価値を与えて商品を制作する“モノ”だけではなく、埋もれている・伝えていくべき技術などの“コト”や“ヒト”もアップサイクルのカテゴリーとして考え、地域が連携することによる社会課題の解決を目指す。



ペットとひとにやさしいまちづくり

株式会社カノン 代表取締役 住吉 孝予

発起人は、2009年に起業し、ペットホテルやトリミングサロンを運営。

2018年に「チームイノベーション道場in広島シーズン」に参加し、ケースメソッドを通じた思考方法等を習得。社会実装作戦会議の第1期にも参加し、社会課題解決プロジェクトとして「ペットにやさしいまちづくり」を掲げた。

2023年10月に協会を設立し、2024年1月にはペット飼育のマナーに関する普及啓発に加え、愛犬家をターゲットにした新規事業を考える企業などに向けたフォーラムを開催。ボードメンバーの協力も得ながら、プロジェクトの実装に向けた活動を継続している。



昨年度の様子



昨年度は、合計53名の方にご参加いただきました！多種多様な業種の人たちが集まり、個社(人)では達成が困難な社会的インパクトのある課題解決に向けたテーマを設定し、そのテーマに沿ったプロジェクトを立ち上げます！参加者が主体となり、能動的に学び合う場でもあります。ぜひお気軽にご参加ください！